

平成 24 年度 2次評価（基本施策評価）シート

基本施策名	50	市内道路網を機能的に強化する	評価責任者 (基本施策主管課長)	建設部建設1課長 北山 太加規
生活課題	渋滞がなく、市内がスムーズに行き来できる		生活課題に対する満足度 H27目標値	63.0 %

基本施策の現状分析及び意図

基本施策の体系		基本目標	便利
		政策	市内外を移動しやすいまちづくり
①	市民意識調査結果	<p>②左記結果に対する現状分析・市民との協議結果</p> <p>市民意識調査によると、本基本施策の満足度はほぼ平均値で、必要度については平均を越え高率であり、現状に満足しておらず今後の整備の必要性は高いという傾向が見られた。</p> <p>参考   満足度（満足意識） 49.7 %    必要度 74.2 %</p>	
③	基本施策の現状と課題	<p>①市道の改良率は国道の約90%、県道の60%弱に比較すると26%と極端に低く、未改良道路が多いこと</p> <p>②市域を短時間で結ぶ道路網の構築や、日常生活圏内の道路交通安全対策などの道路整備が必要なこと。</p> <p>③高度経済成長時に集中して建設された道路や橋梁等について、点検や修繕に迫られていること。</p>	
④	基本施策の意図、今後の展望	<p>市民生活に密着し道路整備と市域を短時間で結ぶ道路網の構築を目指します。</p> <p>①幹線道路や都市計画道路等の整備・改良を進める。</p> <p>②生活圏の道路から幹線道路への接続性を強め、公共施設や病院等へのアクセスを強化する。</p> <p>③歩道の段差解消を進め、安心して通行できるよう改善を進める。</p> <p>④道路施設の点検と整備計画を策定する。とりわけ、橋梁長寿命化修繕計画を策定して計画的な修繕を実施したい。</p>	

⑤ 基本施策指標（総合計画数値目標）

基本施策指標名	単位	過年度実績		評価年度			指標の説明
		H22	H23	H24	H25	H27	
1 市道改良率	目標	%	26.0	26.4	26.5	26.6	市道改良率＝改良済延長÷実延長
	実績	%	26.1	26.3			
	達成率	%	100.7	99.8			
2 舗装改修	目標	ヶ所	58.0	31.0	30.0	30.0	
	実績	ヶ所	31.0	27.0			
	達成率	%	53.4	87.1			
3 橋梁補修	目標	ヶ所	15.0	13.0	26.0	26.0	
	実績	ヶ所	13.0	26.0			
	達成率	%	86.7	200.0			
4 事業調整数	目標	回	20.0	5.0	5.0	5.0	三重県、地元等との事業調整数
	実績	回	31.0	8.0			
	達成率	%	155.0	160.0			
	目標						
	実績						
	達成率	%					
	目標						
	実績						
	達成率	%					
	目標						
	実績						
	達成率	%					

⑥ 基本施策構成事務事業の評価

基本施策を構成する事務事業名	改善余地の有無	事業費（人件費込、単位：千円）			基本施策貢献順位			
		H23 決算額	H24 予算額	H25 所要額				
1 建設部 公共事業対策室	615	県営土木事業負担金	無	31,371	21,374	36,773	1	
2 建設部 建設1課	624	臨時地方道整備事業	無	61,090	25,735	25,840	10	
3 建設部 建設2課	625	臨時地方道整備事業	無	31,078	23,975	70,800	10	
4 建設部 建設1課	627	依那具千歳線道路改良事業	無	13,870	113,300	138,230	4	
5 建設部 建設1課	628	諏訪新居線道路改良事業	無	138,700	38,400	0	3	
6 建設部 建設1課	629	ゆめが丘摺見線道路改良事業(2工区)	無	15,900	298,800	397,700	2	
7 建設部 建設2課	2416	河合円徳院線道路改良事業	無	0	40,512	0	5	
8 建設部 建設1課	2417	依那古友生線道路改良事業	無	0	44,460	27,940	7	
9 建設部 建設1課	2418	小田西明寺線道路改良事業	無	0	37,320	19,130	8	
10 建設部 建設1課	2419	四十九下友生線道路改良事業	無	0	27,120	30,670	6	
（ 以 下 続 紙 ）								
事業費合計				292,009	695,596	788,633		

⑦ ⑥以外で、目標達成に必要な事業（総合計画実施計画の期間内に実施を予定する事業）

事業名	事業主体	事業内容等

⑧ 基本施策の現状分析に基づく改革案の説明

評価視点	評価コメント
1 基本施策指標の分析	基本施策の柱である道路の改良率は26%台と国・県と比べてまだまだ劣っている。今後は狭隘箇所や危険箇所等の局所的な改良も必要である。さらに、生活圏の道路や既存幹線道路の整備や交通安全対策等の快適性・安全性も重要な柱とする。
2 事業構成の適当性（手段として最適か？）	本市の産業、文化等の交流を一層推進するため、市域を短時間で結ぶ道路網の構築が重要であり、地域まちづくりの振興につながる道路整備を進めることが必要である。
3 役割分担の妥当性	生活に密着した道路の整備には、関係地権者の協力のみならず、沿道の自治会あるいは地域組織の協力は不可欠なため、協力して地権者交渉に当れるよう協議することが重要である。
4 総合評価（今後の方向性、事業の見直しについて等）	H25の基本施策指標の目標値を達成するため、現在採択されている道路の新設改良工事の早期完成に傾注する。その上で公共残土の受入や残土処分場の確保、工法の再検討を行い事業費圧縮に取り組む。新規の事業採択に当たっては、補助事業採択を基本に費用対効果に留意し、採択基準を明確にして緊急度の高い道路を採択する。

⑥ 基本施策構成事務事業の評価（続紙）

基本施策を構成する事務事業名	改善余地の有無	事業費（人件費込、単位：千円）			基本施策貢献順位						
		H23 決算額	H24 予算額	H25 所要額							
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="width: 15%;">担当課</th> <th style="width: 10%;">I D</th> <th style="width: 75%;">事業名</th> </tr> <tr> <td>建設部 建設2課</td> <td>2420</td> <td>伊勢路とがの奥鹿野線道路改良事業</td> </tr> </table>	担当課	I D	事業名	建設部 建設2課	2420	伊勢路とがの奥鹿野線道路改良事業	無	0	24,600	41,550	9
担当課	I D	事業名									
建設部 建設2課	2420	伊勢路とがの奥鹿野線道路改良事業									
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
26											
27											
28											
29											
30											
31											
32											
33											
34											
35											
36											
37											
38											
39											
40											
事業費小計		0	24,600	41,550							